



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 椿本興業株式会社

上場取引所 東

コード番号 8052 URL <http://www.tsubaki.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 椿本 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 春日部 博

TEL 06-4795-8806

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	58,091	0.3	1,233	18.7	1,474	28.1	921	145.5
25年3月期第3四半期	57,911	3.4	1,039	△12.8	1,151	△10.2	375	18.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,753百万円 (760.2%) 25年3月期第3四半期 320百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	28.65	—
25年3月期第3四半期	11.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	54,205	14,517	26.5
25年3月期	47,825	12,027	24.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 14,357百万円 25年3月期 11,904百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	3.2	1,950	2.4	2,100	2.4	1,200	137.8	37.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	32,489,845 株	25年3月期	32,489,845 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	324,775 株	25年3月期	319,050 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	32,168,044 株	25年3月期3Q	32,175,974 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
5. 補足情報	10
受注、販売及び仕入の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、各種の経済政策の効果を背景に、円高是正や株価上昇などにより、消費意欲の改善、公共投資が増加し、生産・輸出が緩やかに回復する兆しが見られました。一方、海外生産が進んだ影響で製造業における設備投資需要の回復は、依然として不透明な状況で推移いたしました。

世界経済は、中国や一部の新興国において伸び悩みが見られたものの、米国では緩やかな景気拡大が続き、回復基調となりました。

このような状況下、当企業グループでは、国内での厳しい設備投資状況のなか、自動車関連、新エネルギー関連、環境関連、食品関連、医療・医薬関連業界に対して、国内外の営業強調体制を強化し、積極的営業展開を行った結果、売上高で前年同期を若干上回ることができました。

利益面では、仕入価格の抑制、営業費用の節減に努めたことで、営業利益、経常利益については増益となりました。四半期純利益においては、経常利益の増益に加え、前年同期に比べ特別損失の減少や法人税等の減額等により、大幅な増益となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、

売上高	580億91百万円	(前年同期比 100.3%)
営業利益	12億33百万円	(前年同期比 118.7%)
経常利益	14億74百万円	(前年同期比 128.1%)
四半期純利益	9億21百万円	(前年同期比 245.5%)

となりました。

報告セグメントの業績は以下のとおりです。

第2四半期連結会計期間より、組織変更をしたため、従来の「中日本営業本部」から「名古屋支店」にセグメント名称を変更しております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

#### 東日本営業本部

北海道・東北・甲信越・関東地区において機械部品から搬送設備等の自動化・省力化商品を中心に顧客のニーズにあった最適な商品を提供している部門で、その売上高は全体の34%を占めております。

当第3四半期連結累計期間は、このエリア（地区）において半導体業界の回復が見られたものの、主に自動車関連業界等の国内設備投資、自動車部品需要の伸び悩みから、売上高は、199億53百万円（前年同期比93.9%）となりました。

#### 西日本営業本部

北陸・関西・中国・四国・九州地区において機械部品から搬送設備等の自動化・省力化商品を中心に顧客のニーズにあった最適な商品を提供している部門で、その売上高は全体の約28%を占めております。

当第3四半期連結累計期間は、このエリア（地区）において、業績回復基調にある鉄鋼・化学などの素材産業やプラント業界向け需要回復に加え、液晶関連、環境関連、新エネルギー関連業界の設備投資の増加に支えられ、売上高は、161億28百万円（前年同期比108.2%）となりました。

#### 名古屋支店

東海地区において機械部品から搬送設備等の自動化・省力化商品を中心に顧客のニーズにあった最適な商品を提供している部門で、その売上高は全体の約14%を占めております。

当第3四半期連結累計期間は、このエリア（地区）において、需要回復が見られる航空機関連業界の設備投資が堅調に推移したものの、その他業界の設備投資需要が盛り上がり欠け、売上高は、79億56百万円（前年同期比94.7%）となりました。

#### 開発戦略本部

当企業グループ全体の海外ビジネスやマテリアルビジネスを担当し、それらビジネスの拡大や、制御・センシングビジネスに向けた新商品の開発にも取り組んでいる部門で、その売上高は全体の約24%を占めております。

当第3四半期連結累計期間は、国内外で介護・衛生関連商品及び三角ティーバッグ高速製造装置等が順調に売上を伸ばすとともに、海外における自動車関連業界等の設備投資が増加したことで、売上高は、140億53百万円（前年同期比105.2%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は542億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ63億79百万円増加いたしました。流動資産は33億88百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が39億72百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は、29億91百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価が前連結会計年度末に比べ上昇したことにより27億37百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は396億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億90百万円増加いたしました。流動負債は30億56百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が25億24百万円増加したこと、前受金が13億2百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は8億33百万円増加いたしました。主な要因は、繰延税金負債が8億41百万円増加したこと等によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は145億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億89百万円増加いたしました。主な要因は、当四半期純利益を9億21百万円計上したこと、投資有価証券の時価の上昇に伴うその他有価証券評価差額金が17億35百万円増加した一方で、配当金の支払いを2億62百万円実施したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内外の経済環境は、国内での景気刺激策による設備投資需要の回復が見込まれることと、米国経済の回復とアジア新興国の設備投資も期待できることから、当企業グループにおける連結通期業績は予想通りに推移するであろうと考えております。このため、連結通期業績予想は、平成25年10月31日に発表いたしました予想数値を据え置いております。

引き続き当企業グループでは、営業強調体制の強化を整え、顧客密着営業を展開するとともに、コスト管理の徹底を計り、目標達成に全力で取り組んでまいります。

(通期連結業績予想)

	連結売上高 (百万円)	連結営業利益 (百万円)	連結経常利益 (百万円)	連結当期純利益 (百万円)
通期	84,000	1,950	2,100	1,200

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,465	9,437
受取手形及び売掛金	30,256	27,548
電子記録債権	153	483
商品及び製品	1,598	2,002
仕掛品	399	998
繰延税金資産	143	134
その他	792	1,631
貸倒引当金	△156	△196
流動資産合計	38,653	42,041
固定資産		
有形固定資産	647	960
無形固定資産	44	35
投資その他の資産		
投資有価証券	7,345	10,083
長期未収入金	1,451	1,451
その他	1,260	1,212
貸倒引当金	△1,577	△1,577
投資その他の資産合計	8,480	11,168
固定資産合計	9,172	12,163
資産合計	47,825	54,205
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,161	31,685
短期借入金	130	130
未払法人税等	366	111
役員賞与引当金	—	57
前受金	1,076	2,379
繰延税金負債	9	8
偶発損失引当金	640	383
その他	680	367
流動負債合計	32,065	35,122
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
退職給付引当金	1,179	1,209
長期未払金	343	302
繰延税金負債	0	841
その他	209	211
固定負債合計	3,732	4,565
負債合計	35,798	39,688

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,945	2,945
資本剰余金	1,805	1,805
利益剰余金	5,747	6,411
自己株式	△86	△87
株主資本合計	10,412	11,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,528	3,264
繰延ヘッジ損益	△4	△5
為替換算調整勘定	△32	24
その他の包括利益累計額合計	1,492	3,282
少数株主持分	122	159
純資産合計	12,027	14,517
負債純資産合計	47,825	54,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	57,911	58,091
売上原価	50,179	50,019
売上総利益	7,732	8,071
販売費及び一般管理費	6,693	6,837
営業利益	1,039	1,233
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	126	136
持分法による投資利益	22	68
その他	24	91
営業外収益合計	177	300
営業外費用		
支払利息	22	21
売上割引	26	25
為替差損	3	—
その他	13	12
営業外費用合計	65	59
経常利益	1,151	1,474
特別利益		
固定資産売却益	6	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
投資有価証券評価損	38	—
貸倒引当金繰入額	195	—
過年度決算訂正関連費用	—	107
その他	1	0
特別損失合計	235	107
税金等調整前四半期純利益	921	1,366
法人税、住民税及び事業税	455	410
法人税等調整額	60	4
法人税等合計	515	415
少数株主損益調整前四半期純利益	405	951
少数株主利益	30	30
四半期純利益	375	921



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	405	951
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71	1,734
繰延ヘッジ損益	△17	△1
為替換算調整勘定	2	56
持分法適用会社に対する持分相当額	0	13
その他の包括利益合計	△85	1,802
四半期包括利益	320	2,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287	2,711
少数株主に係る四半期包括利益	32	41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 営業本部 (百万円)	西日本 営業本部 (百万円)	名古屋 支店 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高							
外部顧客への売上高	21,252	14,906	8,398	13,354	57,911	—	57,911
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,541	1,066	470	1,780	4,858	△4,858	—
計	22,794	15,972	8,868	15,135	62,770	△4,858	57,911
セグメント利益	665	493	258	215	1,633	△593	1,039

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,633
セグメント間取引消去	△21
全社費用(注)	△572
四半期連結損益計算書の営業利益	1,039

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 営業本部 (百万円)	西日本 営業本部 (百万円)	名古屋 支店 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高							
外部顧客への売上高	19,953	16,128	7,956	14,053	58,091	—	58,091
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,000	852	533	1,563	3,951	△3,951	—
計	20,954	16,981	8,490	15,616	62,042	△3,951	58,091
セグメント利益	509	860	240	179	1,789	△555	1,233

(注) 1 各セグメントに属する主要な商品は下記のとおりであります。

セグメント別	主要商品名
東日本営業本部	変減速機等各種駆動部品、コンベヤチェーン等各種搬送部品、制御機器、各種センサー、電子機器、その他伝動機器
西日本営業本部 名古屋支店	クリーンエネルギー関連設備、医薬関連設備、化学機械装置、水処理装置、食品機械、その他環境装置、工作機械、産業用ロボット、各種コンベヤ、各種自動化装置、立体倉庫及び自動仕分装置、各種輸送装置を含むFAシステム
開発戦略本部	海外における上記商品 各種不織布及びその加工品、各種合成樹脂成形機及び成形品、機能素材

2 第2四半期連結会計期間より、組織変更により従来の「中日本営業本部」から「名古屋支店」にセグメント名称を変更しております。これに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の名称を用いております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,789
セグメント間取引消去	△12
全社費用(注)	△543
四半期連結損益計算書の営業利益	1,233

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5. 補足情報

受注、販売及び仕入の状況

(1) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)
東日本営業本部	20,935	△ 8.4	7,966	△ 4.3
西日本営業本部	23,149	+ 25.9	12,574	+ 36.1
名古屋支店	9,658	+ 10.4	4,276	△ 0.6
開発戦略本部	15,793	+ 3.0	3,281	+ 12.7
調整額	△4,288	—	△3,376	—
合計	65,248	+ 5.8	24,722	+ 13.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本営業本部	20,954	△ 8.1
西日本営業本部	16,981	+ 6.3
名古屋支店	8,490	△ 4.3
開発戦略本部	15,616	+ 3.2
調整額	△3,951	—
合計	58,091	+ 0.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間における仕入実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本営業本部	18,565	△ 6.0
西日本営業本部	14,572	+ 5.5
名古屋支店	7,285	△ 7.7
開発戦略本部	14,551	+ 5.3
調整額	△3,951	—
合計	51,022	+ 1.2

(注) 上記の金額は、仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

セグメント情報の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報(注)2」に記載のとおり、第2四半期連結会計期間より、組織変更により従来の「中日本営業本部」から「名古屋支店」にセグメント名称を変更しております。なお、セグメント名称変更による受注、販売及び仕入の状況に与える影響はありません。